

J X 金属株式会社

1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：JX金属株式会社
- (2) 所属部会：関東金属機械部会第3分科会
- (3) 資 本 金：200億円
- (4) 従業員数：連結6,892名（2017年3月末）
- (5) 主な事業
 - ・非鉄金属資源の開発・採掘
 - ・非鉄金属製品（銅、金、銀等）の製造・販売
 - ・電解・圧延銅箔の製造・販売
 - ・薄膜材料（ターゲット材、表面処理剤、化合物半導体材料等）の製造・販売
 - ・精密圧延品の製造・販売
 - ・精密加工品の製造・販売
 - ・非鉄金属リサイクルおよび産業廃棄物処理
- (6) 企業理念：

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

- (7) CIマーク：



当社は、総合エネルギー・資源・素材企業グループである「JXTGグループ」の中核を担う非鉄金属企業です。JXの由来は、「日本＝ジャパン」の「J」と未知を表す「X」を組み合わせたもので、「J」が日本を代表する世界有数の「総合エネルギー・資源・素材企業グループ」を、「X」が未知への挑戦、未来への成長・発展、創造性・革新性などを、それぞれ表しています。

2. 知的財産部門の概要

- (1) 組織上の位置及び名称

知的財産部は技術本部に属しています。JX金属全社の知的財産活動を統括しています。



JXTGグループ本社（東京都千代田区）

- (2) 構成及び人員

知的財産部は、特許の出願・権利化・権利行使・企画調査等の業務を担当する15名、調査・システム担当の2名、管理・事務担当の3名の合計20名で構成されています。なお、弁理士資格は6名が取得しています。

- (3) 沿革

2006年の金属系三社（日鉱金属、日鉱マテリアルズ、日鉱金属加工）統合後、2010年に各知的財産部門を統合して、技術開発本部（現技術本部）の知的財産部となり、現在に至っています。

3. わが社の知的財産活動

(1) 基本方針

世界的なプロパテント化の潮流の中で、以下の「事業を育てる知的財産戦略」を展開します。

- ・ 経営戦略・事業戦略の支援
- ・ 新規事業・新規製品の創造を支援
- ・ 開発戦略への参画

(2) 知財創出活動

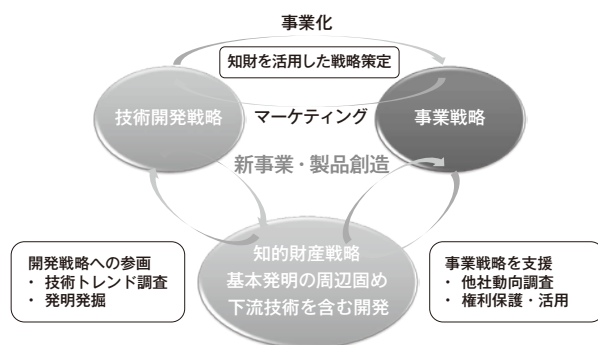
新規技術（発明）毎の単発特許出願ではなく、戦略的な特許網の構築を目標として、下流を含む業界の技術課題に加え、高度な機能（製品価値）も課題として、具体的な解決手段を誘引する知財活動を心がけています。

知的財産部員がこの様な機能を持てるように、特許実務のプロセス毎の担当割とせず、事業また製品群毎の担当割としています。

出願内容は、技術戦略的な観点に加え、事業戦略的な観点を盛り込むなどして、堅固な障壁としての特許網構築を目指しています。

(3) 三位一体の深化

経営・事業（営業）部門、技術部門との連携強化を図り、経営・事業戦略および技術開発戦略を反映した知的財産戦略を常に検討する一方で、顧客・競合・自社の知的財産状況を考慮した経営・事業戦略、技術開発戦略となるように、重要な課題に関しては、三位一体でのデザインレビュー等で、緊密な連絡を取れる様に心がけています。



(4) 権利活用

戦略的特許網の上に成り立つオリジナル技術・製品を守るために、模造品や類似品の情報を収集し、特許侵害の疑いがある対象には、積極的に権利行使を行う様にしています。当社特許の客観的評価により、その対象となる技術・製品には、模造品・類似品が存在する危険性が高い等、客観的指標を基に対応を検討しています。

4. 今後の計画

当社は、非鉄資源と素材を安定的に供給することが社会的使命であるとの認識のもと、鉱物の探査・採掘・製錬から金属加工・電子材料製品までの生産・販売・開発など事業活動のあらゆる面において、「JXTGグループ理念」に基づき、資源と素材の生産性の革新に継続して取り組みます。グローバルな事業展開に対応するため、国内外のグループ会社を含む知財管理体制の強化に努めてまいります。

特に電子材料の商流に関する各国の知財状況の変化を把握し、営業最前線における権利活用を推進する事により、お客様が安心して当社の製品を継続的に使って頂ける様、広く事業活動に貢献できる知的財産部となれるように努力してまいります。

（原稿受領日 2018年1月22日）